

お得意様各位

平成23年9月20日

株式会社 タテムラ  
システムサービス課  
福生市牛浜104

## System-V/LX 電子申告システムの送付について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお取引を賜り誠にありがとうございます。

法人税申告書-平成23年6月30日以後終了事業年度対応の電子申告システムが完成しましたのでお届け致します。

平成23年6月30日以後終了事業年度対応の電子申告で送信できる法人税申告書の別表は、全表ではありません。別表1-1(1-2)、2、4、5-1、5-2、6-1、15、16-1、16-2、16-7、16-8のみです。このため、弊社システムでは2通りの方法を選択できるようになっています。詳しくは、案内文P.7の更新内容をご一読いただき、変換内容等をご確認下さいますようお願い致します。

尚、9月20日にe-Taxソフトもバージョンアップしております。e-Taxを呼び出して更新作業を行って(P.6参照)いただきますようお願い致します。(e-Tax更新を行わないとデータ変換が正しくできませんので必ず行って下さい。)

今後とも倍旧のお引き立ての程、宜しく願い申し上げます。

敬具

## 送付資料目次

※改正保守のご加入(未納含む)に基づき、以下の内容を同封しております。

### 送付プログラム

- ・ System-V/LX用 平成23年電子申告・地方税電子申告 更新 CD-R 1枚  
電子申告・地方税電子申告環境設定

※サーバーが複数台ある場合でも共通で使用できます。

### 取扱説明書

CD-R内にPDFファイルとして入っています。

### 案内資料

- ・ 同封物の解説及びバージョン一覧表 . . . . . 1
- ・ [1000]プログラムの更新作業 . . . . . 2～3
- ・ 環境設定インストール方法 . . . . . 4～6
- ・ 電子申告システム更新内容 . . . . . 7～9

## 送付内容のお問い合わせ先

送付内容に関するお問い合わせにつきましては、サービス課までご連絡下さいますようお願いいたします。尚、保守にご加入のお客様はフリーダイヤルをご利用下さい。

TEL 042-553-5311 (AM10:00~12:00 PM1:00~3:30)  
FAX 042-553-9901

以上

以下のCD-Rを同封しています。



今回送付したCD-Rは

- ・電子申告・地方税電子申告関連プログラム更新
- ・電子申告・地方税電子環境設定
- ・電子申告取扱説明書PDF

を1枚に入れて送付しています。

No.	ラベル名	枚数	備考
1	System-V / LX 平成23年電子申告・地方税電子申告更新 電子申告・地方税電子環境設定 電子申告取扱説明書PDF	1	プログラムインストールCD-Rです

## 転送後のバージョン確認

下記のプログラムは F10 (データ変換) の1頁目に表示します。

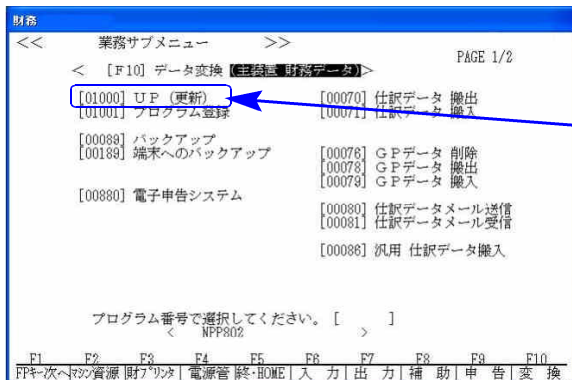
PG番号	プログラム名	HD-VER	備考
880	電子申告システム	V-1.12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人税申告書の平成23年6月30日以後終了事業年度の電子申告に対応致しました</li> <li>・法人の消費税申告書に、送付書がつけられるようになりました</li> </ul>

## ●バージョン確認後

環境設定のCD-Rは必ず保管して下さい。(機械が故障した際に使用します。)

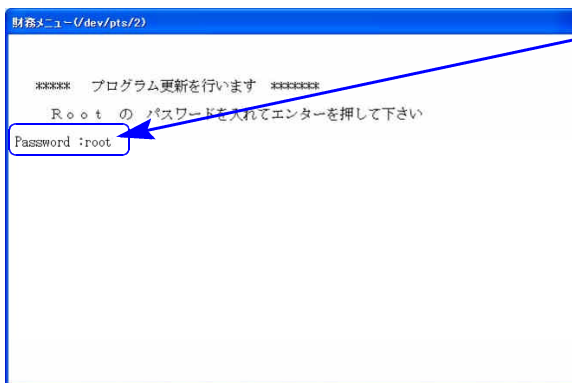
## ● 操作方法

- ① 「平成23年電子申告・地方税電子申告更新～11.09」と書かれているCD-Rを用意します。
- ② **F10** データ変換のメニューを呼び出します。



初期メニューより **F10** データ変換を選択します。**[1000] UP (更新)**を呼び出します。

**1000** **Enter** を押します。



**Enter** を押します。  
(rootは入力しません)

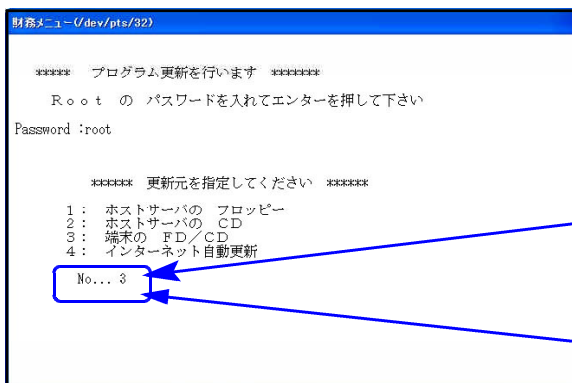
**root** は消さないように注意して下さい。

※パスワードを消した場合エラーを表示します。



※ LX:2005年7月以前納品の機械(LX-TURB010)は、2:ホストサーバのCDで作業して下さい。

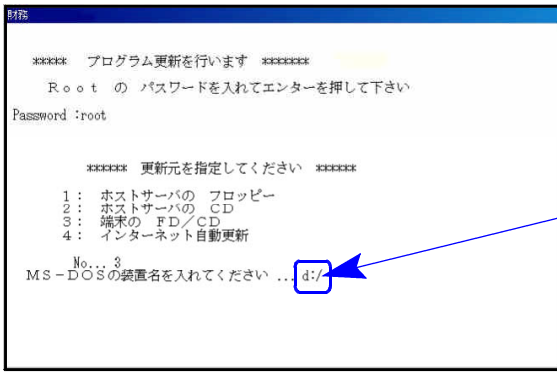
- ③ 下図の画面を表示します。



「平成23年 電子申告・地方税電子申告 更新～11.09」と書いてあるCD-Rをセットして、『3』端末のFD/CDを選択します。

**3** **Enter** と押します。

※ 親機にCD-Rをセットした場合は  
**2** **Enter** を押します。  
→ ⑤へ移動



- ④ 『3』 端末の F D / C D を選択すると『MS-DOSの装置名を入れてください..d:¥』等、前回指定したドライブ名を表示しますので CD-ROMのドライブ名を確認します。

表示したドライブ名が違う場合は、入力後 **Enter** を押します

※お客様の機械によってドライブ名は異なります。下記の方法で確認して下さい。

**CD-ROMのドライブ名の確認方法**

マイコンピュータを開きます。  
CD-ROMのドライブを確認して下さい。

左図の場合はCD-ROMドライブは『D』です。



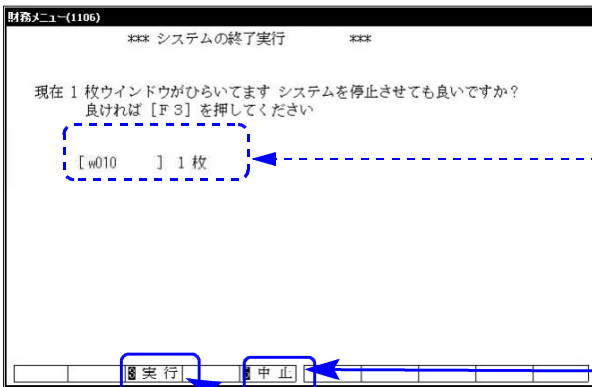
- ⑤ インストールを実行します。  
左図の1行目の画面を表示します。  
『000をインストールします[y/n/a/1?...]』  
**a** 又は **1** を選択します。

※誤って、**y** を選択した場合は2行目以降で **a** 又は **1** を選択して下さい。

- ⑥ 2行目以降を表示します。  
終了が出た後しばらくお待ち下さい。

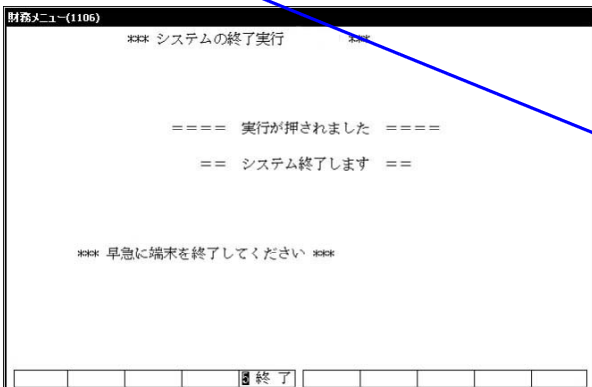
- ⑦ インストールが終了すると左図の画面を表示します。  
CD-Rを本体から取り出してください。  
他の端末が起動していないことを確認します。

※ここに複数表示する場合は他の端末が動作中です。一旦終了して下さい。  
1台のみの場合は現在作業している機械です。



**単体の場合**

**中止**(F 5)を何回か押してシステムを終了し Windows画面、もしくはポータル画面まで戻ります。戻った後、3分ほど待ち、再度システムを起動して下さい。



**ネットワークの場合**

**実行**(F 3)を押し、しばらくお待ち下さい。左図の画面を表示した後、しばらくすると自動的にマルチユーザ端末が終了、その後親機の電源も自動的に切れて再起動します。(※親機の電源が切れたあと5分ほど待っても再起動しない場合は、電源ボタンを押して起動させて下さい。)

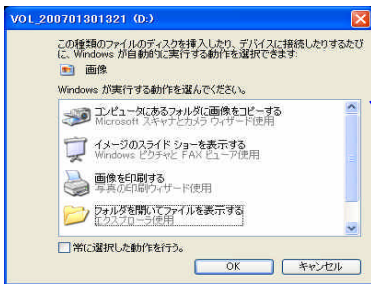
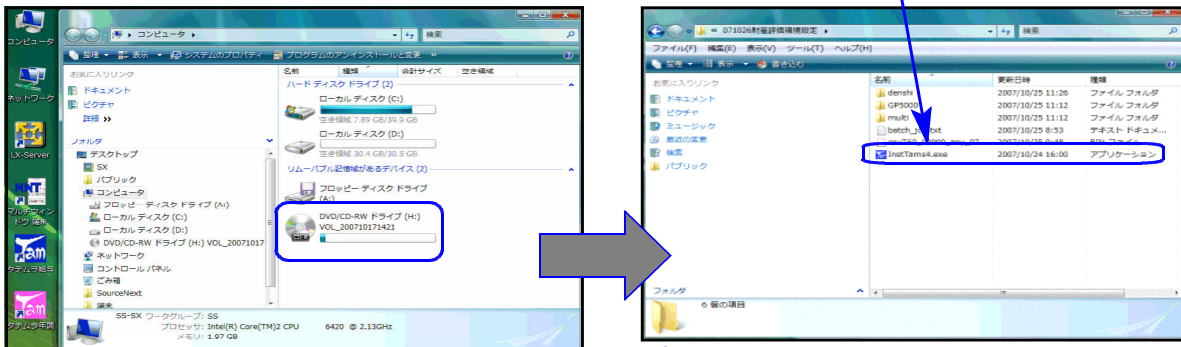
※親機を複数台持っている場合は、本CD-Rにて更新作業を同様に行って下さい。

## 転送前の確認事項

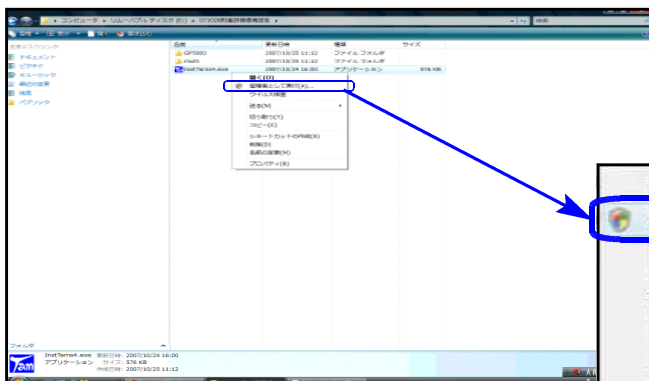
- インストールを行う際は、全てのプログラムを終了して下さい。（マルチウィンドウ端末も閉じて下さい。）終了せずインストールを行うとプログラムが正常に動作しません。

インストールは下記に沿って各端末機で行って下さい。

1. 今回送付した「平成23年電子申告・地方税電子申告更新～11.09」と書いてあるCD-Rを用意して端末機にセットします。
2. コンピュータ(XPはマイコンピ ャ)をダブルクリック→CD-ROMドライブをダブルクリックします。CD-Rの内容を表示しますので、『InstTams4.exe』を右クリックし、手順3へ。(XPの場合は、『InstTams4.exe』をダブルクリックして手順5へ)



※CD-Rをセット後、左図を表示した場合は『フォルダを開いてファイルを表示する』を選択します。  
 OK にマウスの矢印を合わせて左ボタンを1回押すと右上の画面を表示します。



3. 左図の画面より『**管理者として実行**』にマウスの矢印を合わせて左ボタンを1回押します。(クリック)



4. Vistaは左図の画面を表示しますので、「許可」マウスの矢印を合わせて左ボタンを1回押します。(クリック)

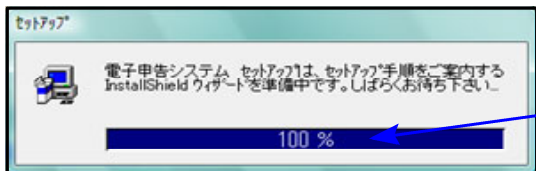


7は「許可しますか?」と表示しますので「はい(Y)」にマウスの矢印を合わせて左ボタンを1回押します。(クリック)

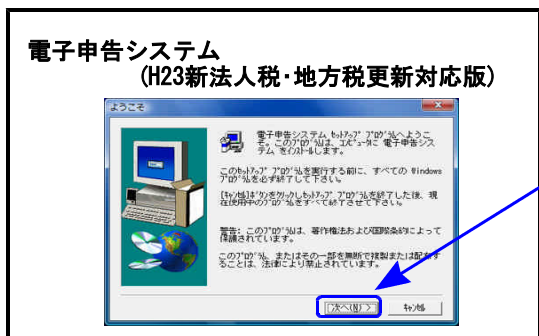


5. 左図の画面を表示します。  
電子申告システムの『新規』にマウスの矢印を合わせて左ボタンを1回押します。

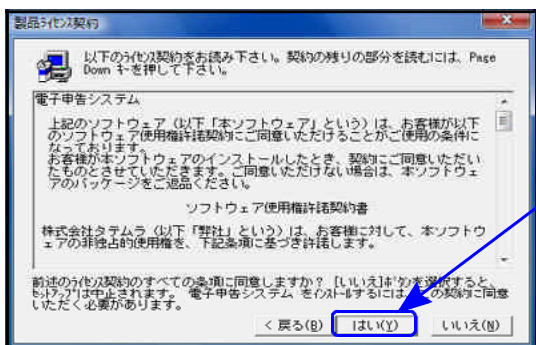
次の画面が出るまでしばらくお待ち下さい。



6. 左図の画面を表示します。  
「100%」になるまでお待ち下さい。



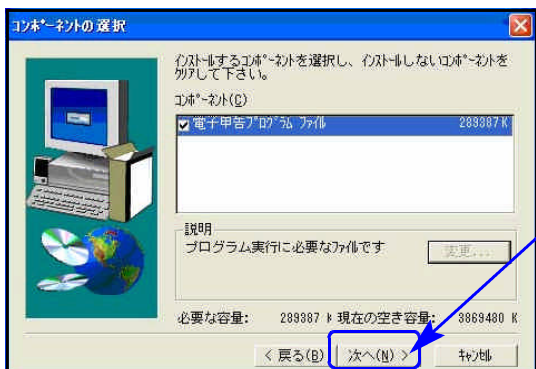
7. 左図の画面を表示します。  
マウスの矢印を「次へ」に合わせ左ボタンを1回押します。(クリック)



8. 左図の画面を表示します。  
マウスの矢印を「はい」に合わせ左ボタンを1回押します。(クリック)



9. 左図の画面を表示します。  
マウスの矢印を「次へ」に合わせ左ボタンを1回押します。(クリック)  
しばらくお待ち下さい。



10. 左図の画面を表示します。  
マウスの矢印を「次へ」に合わせ左ボタンを1回押します。(クリック)  
しばらくお待ち下さい。



11. 「セットアップ完了」と表示したらマウスの矢印を「完了」に合わせて左ボタンを1回押します。(クリック)

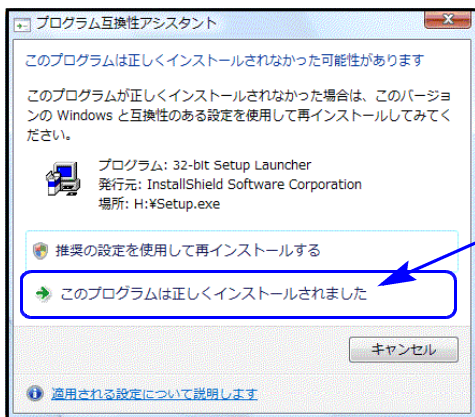


12. 左図の画面に戻ります。

マウスの矢印を **閉じる** に合わせて左ボタンを1回押します。

13. CD-Rを取り出し、Windowsを再起動して下さい。

以上でインストール作業は終了です。

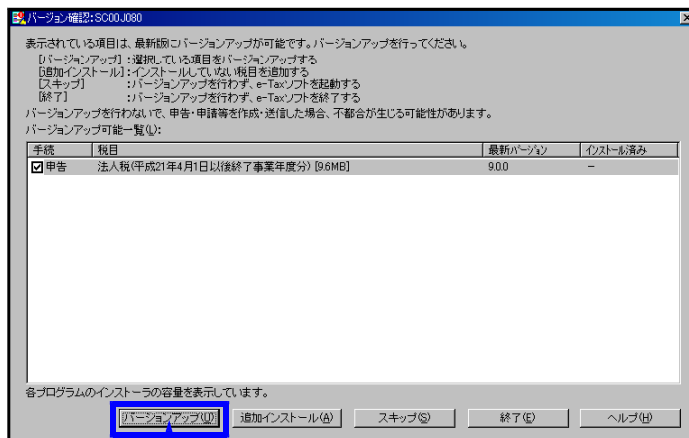


- ※7/Vistaの場合で、インストール終了後に左図の画面を表示した場合は「このプログラムは正しくインストールされました」にマウスの矢印を合わせ、左ボタンを1回押します。(クリック)

## e-Taxソフトも更新が必要です

電子申告を行うにあたって、e-Taxソフトは不可欠です。平成23年9月20日にe-Taxソフトでも更新がありましたので、バージョンアップ作業を行って下さい。

1. デスクトップ上のe-Taxソフトのアイコンをダブルクリック。
2. インターネット接続をOK→国税庁からのお知らせをOK、にして進んで下さい。



3. 上記の画面が表示されましたら、「バージョンアップ」をクリックし、画面に従ってバージョンアップ作業をお願い致します。

●平成23年6月30日以後終了事業年度分の国税(e-Tax)電子申告に対応●  
[882]法人・送信データ作成を更新しております。

51:新法人税送信用データ変換

1.平成23年6月30日以後終了事業年度分のデータ変換について

e-Tax(9月20日更新)で平成23年6月30日以後終了事業年度分の申告ができるのは以下の表のみです。(全表ではありません)

別表1-1(1-2)、2、4(簡易・一般・続表)、5-1、5-2、6-1、15、16-1、16-2、16-7、16-8  
適用額明細書、勘定科目内訳明細書、法人事業概況書、法人決算書

上記のように、[110]新法人税申告書で対応している表の一部しか電子申告ができません。国税庁からは、平成23年4月1日以後終了事業年度分の別表で読み替え可能なデータであれば平成23年4月1日以後終了事業年度分として電子申告できると発表されています。

これに対応するため、弊社システムでは2通りの方法を選択できるようになっています。

①平成23年6月30日以後終了事業年度分の手続きとして変換・送信

対応していない別表については、添付書類送付書を作成の上、郵送又は窓口へ提出して下さい。

②平成23年4月1日以後終了事業年度分の手続きとして変換・送信

[110]新法人税申告書で対応している表はすべて変換・送信できます。

平成23年6月30日以後終了事業年度分に対応している別表については、読み替えて変換します。

※事業年度の至年月日が平成23年6月30日以後の場合の変換時、申告の種類指定の後、「変換方法の指定」画面を表示します。変換・送信方法を指定して作業を進めて下さい。

The image shows three screenshots of the software interface. The top-left screenshot shows a '申告の種類' (Statement Type) selection screen with options for '確定' (Final), '確定申請' (Final Application), and '今年申告' (This Year's Statement). The bottom-left screenshot shows a '変換方法の指定' (Specify Conversion Method) screen with two options: '平成23年 6月30日以後終了事業年度分の手続きとして変換・送信する' (Convert and transmit as the procedure for the fiscal year ending after June 30, 2023) and '平成23年 4月1日以後終了事業年度分の手続きとして変換・送信する' (Convert and transmit as the procedure for the fiscal year ending after April 1, 2023). The right screenshot shows a list of tax forms to be converted, with a blue box highlighting the forms listed in the text above. A red box highlights a note about checking all forms, even those not in the list.

※平成23年 6月30日以後終了事業年度分の手続きとして変換・送信する  
別表1-1(1-2)・2・4(一般・簡易・続表)・5-1・5-2・6-1・15・16-1・16-2・16-7・16-8  
適用額明細書・勘定科目内訳明細書・法人事業概況書・法人決算書のみ変換・送信が可能  
※ト記以外の別表が作成されていた場合、変換選択画面にデータ有とマークがつきますが変換は行いません。添付書類送付書を作成の上郵送して下さい。

平成23年 4月1日以後終了事業年度分の手続きとして変換・送信する  
金表変換・送信可能です。  
ただし、平成23年 6月30日以後終了事業年度に対応している別表に関しては読み替えて変換を行います。  
読み替え内容については国税庁ホームページをご参照下さい。

法人税申告書(別表1-1か別表1-2のどちらかは必須です。)

<input checked="" type="checkbox"/> 別表 1-1	<input checked="" type="checkbox"/> 別表 5-1	<input checked="" type="checkbox"/> 別表 13-2	<input checked="" type="checkbox"/> 別表 16-10
<input checked="" type="checkbox"/> 別表 1-2	<input checked="" type="checkbox"/> 別表 5-1付	<input checked="" type="checkbox"/> 別表 13-5	<input checked="" type="checkbox"/> 通用額明細書
<input checked="" type="checkbox"/> 別表 2	<input checked="" type="checkbox"/> 別表 5-2	<input checked="" type="checkbox"/> 別表 14-2	
<input checked="" type="checkbox"/> 別表 3-1	<input checked="" type="checkbox"/> 別表 6-1	<input checked="" type="checkbox"/> 別表 15	
<input checked="" type="checkbox"/> 別表 3-2	<input checked="" type="checkbox"/> 別表 7-1	<input checked="" type="checkbox"/> 別表 16-1	
<input checked="" type="checkbox"/> 別表 3-3	<input checked="" type="checkbox"/> 別表 8-1	<input checked="" type="checkbox"/> 別表 16-2	
<input checked="" type="checkbox"/> 別表 3-4	<input checked="" type="checkbox"/> 別表 11-1	<input checked="" type="checkbox"/> 別表 16-4	
<input checked="" type="checkbox"/> 別表 3-4付	<input checked="" type="checkbox"/> 別表 11-(1の2)	<input checked="" type="checkbox"/> 別表 16-6	
<input checked="" type="checkbox"/> 別表 4(一般)	<input checked="" type="checkbox"/> 別表 11-2	<input checked="" type="checkbox"/> 別表 16-7	
<input checked="" type="checkbox"/> 別表 4(簡易)	<input checked="" type="checkbox"/> 別表 11-3	<input checked="" type="checkbox"/> 別表 16-8	

勘定科目内訳明細書  
 1:預貯金等  
 2:受取手形  
 3:売掛金(未収入金)  
 4:債権・貸  
 5:たな卸資産  
 6:有価証券

法人事業概況書  
 13:事業所別  
 14:役員報酬  
 15:純代家賃 他

法人決算書  
 法人決算書

※法人税申告書 注意※  
入力してある別表すべてにチェックがつきますが、平成23年6月30日以後終了事業年度分の手続きを選択した場合、別表1-1(1-2)、2、4、5-1、5-2、6-1、15、16-1、16-2、16-7、16-8のみ変換・送信します。



## 2. 別表2の続柄の変換方法が変更になりました。

(平成23年6月30日以後終了事業年度分の手続きとして変換の場合)

e-Taxであらかじめ決められた続柄候補(19個)からの選択になったことに伴い、以下のように変換します。

続柄欄に入っている文字(スペースを除く)で、以下候補の中に完全に一致する文字がある場合はそのまま変換。一致するものがない場合は「その他」として変換します。

[ 続柄候補 ]

本人・配偶者・父・母・義父・義母・長男・次男・三男  
長女・次女・三女・子・孫・祖父・祖母・兄弟・姉妹

左記以外は  
その他

例)

順位	株式数等	判定基準となる株主(社員)及び同族関係者		続柄
		住所又は所在地	氏名又は法人名	
1	1	東京都武蔵野市吉祥寺東町 〇〇-〇〇-〇〇	東京 太郎	本人
2	1	東京都武蔵野市吉祥寺東町 〇〇-〇〇-〇〇	東京 花子	妻
3	1	東京都三鷹市井の頭 〇〇-〇-〇	東京 一郎	長男

変換

順位	株式数等	判定基準となる株主(社員)及び同族関係者		判定基準となる株主等との続柄
		住所又は所在地	氏名又は法人名	
1	1	東京都武蔵野市吉祥寺東町 〇〇-〇〇-〇〇	東京 太郎	本人
1	1	東京都武蔵野市吉祥寺東町 〇〇-〇〇-〇〇	東京 花子	その他
1	1	東京都三鷹市井の頭〇〇- 〇-〇	東京 一郎	長男

「妻」：候補に一致するものがない  
→「その他」で変換

「長男」：候補中の文字と一致→変換。

## 3. 別表4の変換について

沖縄の認定法人の所得の特別控除額 (別表10-1「9」又は「12」)	28	△	※	△
国際戦略の指定特定事業法人の所得金額の損金算入額又は益金算入額 (別表10-2「7」又は「9」)	29	2,929	※	△ 2,929
認定研究開発事業法人等の所得金額の損金算入額又は益金算入額 (別表10-3「7」又は「9」)	30	3,030	※	△ 3,030
法人税額から控除される所得税額 (別表6-1「6」の「3」)	31		その他	
税額控除の対象となる外国法人税の額等 (別表6-2の2「10」-別表17-2の2「39」の計)	32		その他	
組合等損失額の損金不算入額又は組合等損失超過合計額の損金算入額 (別表9-2「10」)	33	31		31
合 (26+27+28-29-30+31+32+33)	34	4,913,853	外 ※	△ 41,100 470,625
計 (26+27+28+29+30+31+32+33)	34	4,913,853	※	
新築床探鉱費又は海外新築床探鉱費の特別控除額 (別表10-4「42」)	35		※	△
対外船舶等の収入金額に係る所得金額 (別表10-5「19」,「20」又は「22」)	36	3,636	※	△ 3,636
総計 (34)+(35)-(36)又は(34)+(35)+(36)	37	4,917,489	外 ※	△ 44,736 470,625

変換

沖縄の認定法人の所得の特別控除額 (別表10-1「9」又は「12」)	28	△	※	△
国際戦略の指定特定事業法人の所得金額の損金算入額又は益金算入額 (別表10-2「7」又は「9」)	29	2,929	※	△ 2,929
認定研究開発事業法人等の所得金額の損金算入額又は益金算入額 (別表10-3「7」又は「9」)	30	3,030	※	△ 3,030
法人税額から控除される所得税額 (別表6-1「6」の「3」)	31		その他	
税額控除の対象となる外国法人税の額等 (別表6-2の2「10」-別表17-2の2「39」の計)	32		その他	
組合等損失額の損金不算入額又は組合等損失超過合計額の損金算入額 (別表9-2「10」)	33	31		31
合 (26)+(27)+(28)-(29)-(30)+(31)+(32)+(33)又は (26)+(27)+(28)+(29)+(30)+(31)+(32)+(33)	34	-4,919,053	外 ※	-41,100 470,625
新築床探鉱費又は海外新築床探鉱費の特別控除額 (別表10-4「42」)	35		※	△
対外船舶等による収入金額に係る所得金額 (別表10-5「19」,「20」又は「22」)	36	3,636	※	△ 3,636
総計 (34)+(35)-(36)又は(34)+(35)+(36)	37	-4,917,489	外 ※	-44,736 470,625

変換・送信指定  
・23年6月30日以後終了  
事業年度分の手続き  
[29][30][36]

・23年4月1日以後終了  
事業年度分の手続き  
[34]

は以下のように変換します。

金額がマイナスの場合  
→損金算入額

金額がプラスの場合  
→益金算入額

